

新井文山 貧しい漁師の家に生まれながら、昌平覺に学んで学者となり、地域の教育に献身した。

あらいぶんざん

源内獄中死・1779 = 安房国館山新井浦で、もと網元ながら落ちぶれていた漁師(林)三九郎の長男に生まれる。母は靴屋の娘。

幼くして父を失い、魚の行商して生計を立てる情け深い母に育てられ、

意知刺殺事件1784 = 5歳 : **利発ぶりを見込んだ新井浦の浄土宗三福寺の住職秀哲に勧められ、弟子入りして読み書きを習い、**

田沼意次失脚1786 = 7歳 :

..... 1788 = **9歳** : **ついで、館山柏崎の漢学者鈴木直郷に入門、**

カヌヲ来日・1792 = 13歳 : **さらに江戸に出、かって房州に来遊した幕臣で詩文・能書家杉浦西涯に入門と、上がるうち、**

松平定信引退1793 = 14歳 :

昌平覺始・・1797 = **18歳** : この頃、**ついに最高学府昌平坂学問所大学頭林述斎の家塾に入ることを許されるに至り、佐藤一斎・松崎謙堂の教えを受ける。**

一度潮来に遊んだばかりは学業に専念し、この間、元服して林潤蔵と名乗る。

いざノ報復・1806 = **27歳** : ***学業を終え、仕官を勧められるも、老母に孝養したいと辞退して帰郷。結婚するとともに、家塾を開く。**
新井浦の羽山家の出で、年上ながら物静かで学問もできて賢夫人といわれた妻とともに、母に孝養しながら、子弟の教育に当り、多数の漢詩を詠み始める。

浮世風呂・・1809 = 30歳 : 師父として敬慕していた三福寺住職秀哲が死去して気落ちしたりするが、

ゴロノ拿捕 1811 = 32歳 : 長男が誕生。

..... 1815 = **36歳** :

伊能測量終・1816 = 37歳 : 江戸遊学時代の師友大槻玄沢の還暦に祝いの詩を贈る。

杉田玄白没・1817 = 38歳 : 母が死去して落胆。

水野忠成老中1818 = 39歳 : 次男が誕生。**この年までに、10冊の漢詩集を残し、**

藤栗毛終・・1822 = 43歳 : 男女8人の子を産み育ててきた妻が死去。子育てに困り、新井浦の佐久間家から後妻を迎える。
この間、**門弟の数も増えて"南総の大儒"と呼ばれるようになる。**

シノノ井鳴滝塾1824 = **45歳** :

家計にもゆとりが出て、

日本外史・・1827 = 48歳 : 二階建て新居の普請にかかり、

シノノ井事件・1828 = 49歳 : 落成。

富嶽三十六景1831 = 52歳 : 大原幽学が来訪し、以後、何度か訪れて親交。

鼠小僧磔・・1832 = **54歳** :

長年の学識徳行が館山藩主に知られ、

..... 1836 = 58歳 : **藩主に召されて、御前講義し、**

大塩平八郎乱1837 = 59歳 :

適塾オープン・1838 = 60歳 : ***士分に取り立てられ、苗字帯刀を許され、新井姓を名乗り文山と号する。**

蛮社の獄・・1839 = 61歳 : 俸米も賜り、

勧進帳初演・1840 = 62歳 : **巡回中の藩主が2度も来宅し、何れも留守をしていたにもかかわらず、近習並席に取り立てられ、**

天保改革始・1841 = **63歳** :

天保改革弾圧1842 = 64歳 : **給人に進み、目付を兼ねた郡奉行となり、25石二人扶持となるに至った。**

阿部正弘首座1845 = 67歳 :

孝明天皇・・1846 = 68歳 : アメリカのビッドル率いる軍艦が来航した際には、藩命で、兵を率いて三浦半島に向かい、警備に当る。

藩の役人としても善政を施して、百姓から敬慕され、

国定忠治磔・1850 = **72歳** :

尊徳報徳論・1851 = 73歳 : 病に罹り、**没した。**

「人づくり風土記(千葉)」,